

D-50 周辺化変分ベイズ法による無限関係モデル推論の検討

石黒勝彦(NTT)、佐藤一誠(東京大学)、上田修功(NTT)

目的：周辺化変分ベイズ法(CVB)による無限関係モデル(IRM)の学習則の導出と性能の検証

背景：構造データモデルへのCVB応用は始まったばかり

系列データ:HMM

Wang & Blunsom, 2012

文法構造:PCFG

Wang & Blunsom, 2013

関係データ:IRM

本検討

**結論：CVBはIRMに非常に有効
(実験したデータの範囲では)**

